

概要

- 近年、海洋環境の変化等によるコンブ、ウニ、タコ、エビ等の漁獲量が大幅に減少するとともに、燃油や漁業用資材価格の高騰により漁業経営は厳しく、経営の安定化が課題。
- 新規就業者の定着、高齢漁業者の負担軽減を図るため、就労環境の改善も不可欠。
- 漁港ストック（静穏域）を活用し、高齢漁業者等が働きやすい蓄養・養殖事業を展開。
- 将来的には、漁港背後に立地する道の駅等と連携し、蓄養した水産物を直売所やレストランに供給、漁業所得の向上と漁港来訪者の増加、漁業地域の活性化を目指す。



海業の取組概要

- ・漁港ストック（静穏域）を活用し、ウニ・タコ等の蓄養モデルを構築、悪天候時の出荷や需要期における出荷等が可能な環境を目指す。
- ・蓄養に必要なエサは、ブルーカーボンにも貢献できるコンブを養殖。
- ・最終目標として背後地にあるキャンプ場やイベント、海水浴場、直売所・レストラン等で蓄養した水産物を出荷・販売し、漁業経営の安定化、交流人口の増加及び地域経済への波及を目指す。

効果

- 新規漁業者、高齢漁業者等の就労環境改善、漁業所得の向上
- 地域経済の活性化
- 漁業地域の交流人口の増加
- ブルーカーボンによるCo2吸収対策

協力体制

- 実施者  
苫前町  
北るもい漁業協同組合  
漁業者  
留萌管内ブルーカーボン検討協議会
- 技術指導  
留萌振興局産業振興部水産課  
留萌地区水産技術普及指導所

スケジュール

令和6年5月～蓄養・養殖試験開始  
令和7年以降～道の駅への水産物供給



レストランへの供給



道の駅直売所での販売



ICTブイによる水質管理



コンブ養殖（ブルーカーボン）、ウニ・タコ蓄養

